

# モバイル決済アプリの普及状況について

岡山県カンボジアビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Mak Brathna)

## 1. はじめに

カンボジアにおけるスマートフォンの普及率は、ここ数年、都市部を中心に高まっており、2018年のデータでは保有率が120%近くに上り、国民1人あたり1台以上を保有している計算となる。スマートフォンの普及に伴いSNSをはじめとしたモバイルアプリの利用も広がり、なかでも国内送金や支払いが可能な決済アプリの利用者は増加しており、モバイル決済市場への新規参入も相次いでいる。そこで、本稿ではモバイル決済アプリの普及状況及び主要なモバイル決済アプリについて報告する。

## 2. カンボジアにおける送金の習慣

カンボジアにおいて、会社間の取引では銀行口座を通して送金を行うのが一般的であるが、個人で銀行口座を所有していない人は多く、個人的な送金を行う際には銀行を利用しない人がほとんどであった。また、銀行口座を利用して送金を行う場合、送金目的の証憑書類を要求されるなど、手続きが煩雑であることから銀行を利用しない人も多く、親戚や友人、知り合いのタクシー・バスの運転手等に現金の受渡しを依頼したり、もしくは運送サービスを利用して荷物を運送する際にお金を一緒に送ったりすることが一般的であった。

一方で、上記のような方法で地方へ送金する際に、詐欺等のトラブルに巻き込まれるといった事例も発生しており、そういった背景もモバイルアプリを利用した送金が急激に普及するきっかけになったと言われている。

## 3. モバイル決済アプリの種類

現在カンボジアで利用可能な決済アプリは数多くあるが、その中でいくつか代表的なアプリを紹介したい。

### Wing

2009年に設立され、カンボジア国内ではモバイル送金サービスでトップのシェアを誇る。主な事業は国内の送金、電話代、給与、公共料金の支払い等のサービス、その他QRコードを利用した決済サービスも行っている。2018年には銀行ライセンスを取得し（Specialize bank）最近では海外送金を行う事も可能となった。

### True Money

2016年にカンボジアで導入され、近隣諸国でも利用されている。現在の代理店数はカンボジア国内において5,000店以上あり、国内送金や給与支給サービスを提供している。

### Ly Hour Pay Pro

親会社であるLy Hour Groupは不動産、宝飾品販売、納税代行、通貨両替といった業務に従事しており、2016年に子会社としてLy Hour Pay Proを設立し、国内送金サービスの提供を始めた。

### E-Money

E-Moneyは2015年にViettel社によって導入されたモバイル送金サービスである。他のアプリと同様に国内送金、電話代や公共料金の支払いサービスを提供している。

### ACLEDA Unity ToanChet

2010年6月からサービスの提供が開始され、学費や公共料金の支払いサービスの他、バス等の公共交通機関の運賃も当アプリで支払うことが可能になった。加盟店と提携し、アプリを利用して製品を購入した際に値引きを受けられるといったメリットもある。

### Smart Luy

SmartLuy は、Smart というカンボジアを代表する携帯電話会社が提供するモバイル決済サービスである。最大 1,000USD を振り込むことが可能となっている。

### Pi Pay

Pi Pay は 2017年7月に起業し、ABA、Sathapana、Phillip といった銀行とマイクロファイナンス事業の分野で提携し、主に国内送金サービスを提供している。Pi Pay を利用するには、加盟店での割引が受けられるのも魅力的なサービスの一つである。



上記で紹介した以外にもカンボジア国内には多くのアプリが存在するが、サービス提供内容がほとんど同じということもあり、上記以外はあまり利用されていないのが現状である。

## 4. カンボジア国内の現状

カンボジアには数多くのモバイル決済アプリが普及していることもあり、国内の競争は激しく、開発企業の多くは自社のアプリを利用してもらう為に、国内の有名な小売店や飲食店等と提携し、アプリを利用して食事や製品を購入した際に5%~20%の値引きを受けられるといったサービスを提供することで、利用者の拡大を図ろうとしている。従来は銀行口座を持っている

場合のみ値引きを受けることが可能であったが、最近ではモバイルアプリの利用が主流となっており、企業側も利用者のメリットとなるような様々なサービスを導入している。

## 5. 終わりに

スマートフォンの普及と共に、モバイルアプリの利用は一気に広がりを見せ、なかでも国内送金や支払いといった決済サービスの市場は急激な成長を遂げている。その背景として、カンボジアでは国民の多くが個人の銀行口座を所有していないことに加え、煩雑な手続を必要としないアプリの利便性も大きな魅力となり、幅広く受け入れられるようになったと言われている。新規参入企業が増える中で、今後もスマートフォン等を利用したキャッシュレス化は進むとみられており、利用者としてもどのようなサービスが提供されるかが楽しみである。

## 6. 参考文献

1. <https://asiafoundation.org/wp-content/uploads/2016/12/Mobile-Phones-and-Internet-Use-in-Cambodia-2016.pdf> (「携帯電話とインターネットの普及状況 2016年版」)
2. <https://www.affordable-seo.online/blog/cashless-payments-in-cambodia/> (「Pi Pay 着手履歴」)
3. <https://www.forbes.com/sites/daniellekeetonolsen/2018/01/15/how-cambodias-leading-mobile-payments-app-is-using-discounts-to-drive-customer-acquisitions/#40ffe9615a74> (「小売店へ割引で製品等の購入可能」)
4. [https://www.acledabank.com.kh/kh/eng/md\\_in20170425](https://www.acledabank.com.kh/kh/eng/md_in20170425) (「ACLEDA Unity ToanChet の履歴」)
5. <https://www.phnompenhpost.com/business/wing-launches-mobile-payment-platform> (「Wing 立て上げ履歴」)

### 【岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク (株式会社 I-GLOCAL 内) >>

【所在地】：東京都中央区銀座1丁目18番2号 辰ビル7F

【担当者】：鎌塚 麻由子 (かまづかまゆこ)

<<ベトナム/ホーチミン現地デスク (I-GLOCAL ホーチミン事務所内) >>

【所在地】：14th Floor, TNR Tower, 180-192 Nguyen Cong Tru Street, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam

【担当者】：本庄谷 由紀 (ほんじょうやゆき)

<<ベトナム/ハノイ現地デスク (I-GLOCAL ハノイ事務所内) >>

【所在地】：Room 1206, 12th Floor, Indochina Plaza Ha Noi Tower, 241 Xuan Thuy Street, Cau Giay District., Ha Noi, Vietnam

【担当者】：逆井 将也 (さかさいまさや)

※ デスクのご利用にあたっては、「岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク」利用の手引きをご覧のうえ、まずは岡山県産業企画課マーケティング推進室(086-226-7365)までご相談ください。